

プログラミング教育指導員養成講座 実施計画案

ICT教育推進研究所

学校教育と社会教育を近づける一歩に

	学校教育	社会教育（生涯学習）
現状・要望	地域の人たちをゲストティーチャーとして活用したい。 先生の異動があるため、継続的にICTに携われる人材を地域で確保したい。 プログラミング教育において教員補助ができる人材が欲しい。	様々な講座を通じて学びを深めている。 学んだことを地域に還元できてない。 地域のために学んだことを活かしたい。



プログラミング教育を推進する上で地域の協力も欠かせない
地域人材の登用に向けては、必要最低限の知識スキルを身に付けさせる必要がある



社会教育の分野を活用して、プログラミング教育指導員を養成する講座を開く。
修了した人材を学校に導入し、プログラミング教育の推進を図る。

講習内容（案）

- 教育学について 概要理解
- 学習指導要領について 概要理解（情報活用能力向上が重要課題）
- 学校現場について 学校の1日、先生の1日など
- 児童生徒について 実態、発達障害のある児童生徒など
- 個人情報とセキュリティ 著作権、情報の取り扱いなど
- コンピュータの基礎知識 Windows、ネットワークなど
- プログラミング教育とは 資質能力、概念、使用する教材など
- プログラミング体験 Scratch、Viscuit、アンプラグドなど
- 指導員の活動や求められること 役割、教員との違い、留意点など

養成講座の流れ

